



## 2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月14日  
東

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所  
 コード番号 3501 URL <https://suminoe.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 吉川 一三  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室部長 (氏名) 薄木 宏明 (TEL) 06-6251-6803  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 2021年2月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年5月期第2四半期の連結業績(2020年6月1日~2020年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	37,567	△22.7	20	△98.3	△5	—	△352	—
2020年5月期第2四半期	48,602	△1.4	1,190	△11.9	1,130	△16.2	474	△3.9

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 △436百万円( —%) 2020年5月期第2四半期 1,133百万円( 395.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	△55.87	—
2020年5月期第2四半期	70.83	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第2四半期	86,296	32,015	31.6
2020年5月期	86,272	32,582	32.5

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 27,310百万円 2020年5月期 27,998百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	35.00	—	15.00	50.00
2021年5月期	—	15.00	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想および剰余金の配当(中間配当)並びに期末配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,400	△11.1	868	△44.3	860	△35.0	85	△40.5	13.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想および剰余金の配当(中間配当)並びに期末配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年5月期2Q	7,682,162株	2020年5月期	7,682,162株
2021年5月期2Q	1,363,626株	2020年5月期	1,373,422株
2021年5月期2Q	6,312,959株	2020年5月期2Q	6,697,034株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予測値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
四半期連結損益計算	
第2四半期連結累計期間	P. 9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 13
(追加情報)	P. 13
(セグメント情報)	P. 14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による景気後退から持ち直しを見せたものの、雇用環境の悪化や消費回復の鈍化などにより停滞しました。世界経済においては、中国では景気が回復しましたが、欧米では新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せず、厳しい状況が続きました。

当社グループ事業に関連のあるインテリア業界において、国内の新設住宅着工戸数は前年同期比9.3%減、非住宅分野でも着工床面積が前年同期比11.8%減と下回りました。また、自動車業界において、国内市場の生産台数は前年同期比11.5%減となりました。海外市場でも生産・販売が滞り、前年同期を下回りました。

このような環境において、当社グループは、従業員が安心・安全に働ける環境の整備を行うなど、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底しつつ、これまで当社グループが取り組んできたESGを基軸とした商材の市場展開と、グローバル経営を推進しております。

インテリア事業では、抗菌・抗ウイルス加工技術「CLEANSE®/クレンゼ®」を施した製品や、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」といった、健康に配慮し、環境にやさしい製品の拡販に努めております。また、店舗の設計・デザイン・施工などを行う株式会社シーピーオーをグループに迎えたことで、インテリア内装材の製造販売から空間設計・デザインへ、さらに店舗分野へと事業領域の拡大を目指してまいります。

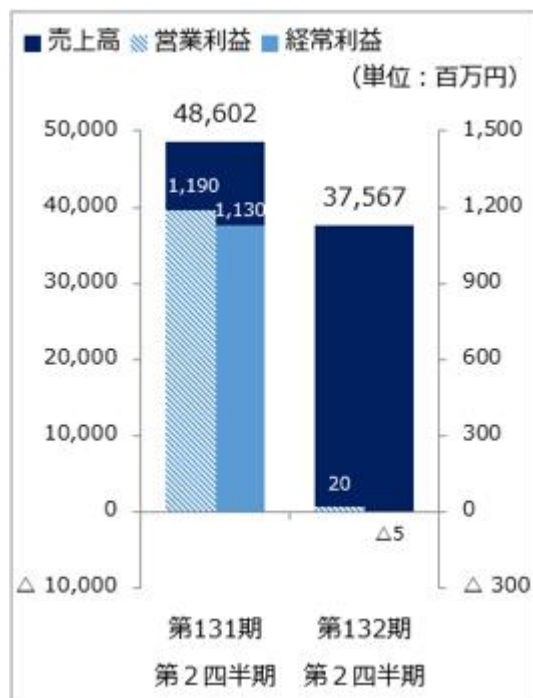
自動車・車両内装事業では、自動車関連は、合成皮革などの非繊維商材の技術開発と受注拡大に取り組むとともに、原材料調達およびグローバル車種の生産地の最適化による原価低減を進めております。車両関連は、鉄道・バス向けの高機能ファブリック素材の製造販売や、シートクッション材・安全対策商材の拡販に努めております。自動車関連、車両関連ともに、インテリア事業で培ってきた抗菌・抗ウイルスなどの加工技術を活かし製品開発に取り組んでおります。

機能資材事業では、2019年に繊維系電気暖房商材の新たな生産・販売拠点をベトナムに設立しました。地域リスクを分散し、最適な供給体制を構築してまいります。また、消臭・抗菌・抗ウイルス・抗アレルギー機能を持つ当社グループ独自の複合機能加工「トリプルフレッシュ®デオ」を施した製品の拡充・販売に注力しております。

グループ全体では、経営管理体制の高度化を実現すべく、基幹システムの再構築や連結業績管理の精緻化に取り組んでおり、事業の成長に向けた土台づくりを着実に進めております。

現在、事業横断的なプロジェクトを立ち上げております。インテリア事業の持つデザイン力、自動車・車両内装事業のファブリック素材への加工技術、機能資材事業の消臭・抗菌・抗ウイルスといった高機能技術など、それぞれの事業分野が持つ強みを結集し、これからの空間に求められる次世代内装の開発に取り組んでおります。

当第2四半期における連結業績は、以下のとおりとなりました。

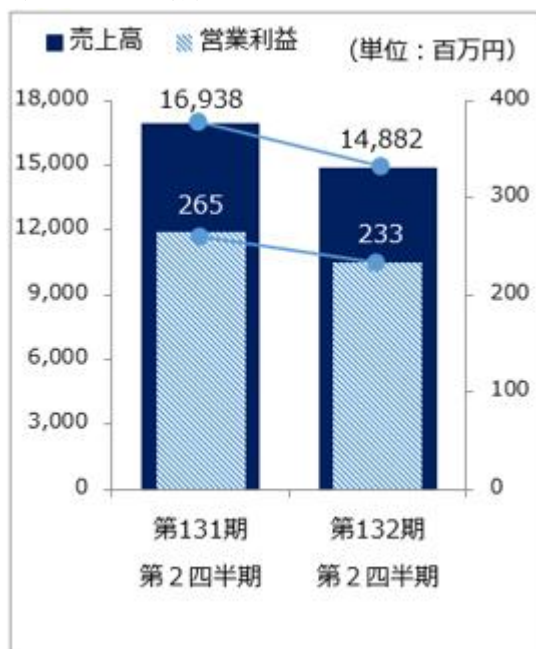


売上高は、業務用タイルカーペットやカーテンの売上が伸び悩んだことや、世界的な経済鈍化の影響を受け国内外の自動車関連売上が大きく落ち込んだことが影響し、前年同期比22.7%減の375億67百万円、利益面では、営業利益は同98.3%減の20百万円、経常損失は5百万円（前年同期 経常利益11億30百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億52百万円（同親会社株主に帰属する四半期純利益4億74百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメント	売上高		営業利益	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
インテリア事業	14,882	△12.1	233	△11.8
自動車・車両内装事業	20,406	△29.2	546	△66.0
機能資材事業	2,067	△25.2	52	△69.4
その他	210	+182.5	37	+6.2
小計	37,567	△22.7	870	△58.2
調整額	—	—	△850	—
合計	37,567	△22.7	20	△98.3

## (インテリア事業)



ウェブならびに店舗販売向けの家庭用カーペットが好調となったものの、業務用タイルカーペットや、一般家庭向けオーダーカーテン、医療・福祉・教育施設向けカーテンが伸び悩み、売上高は前年同期比12.1%減の148億82百万円、営業利益は同11.8%減の2億33百万円となりました。

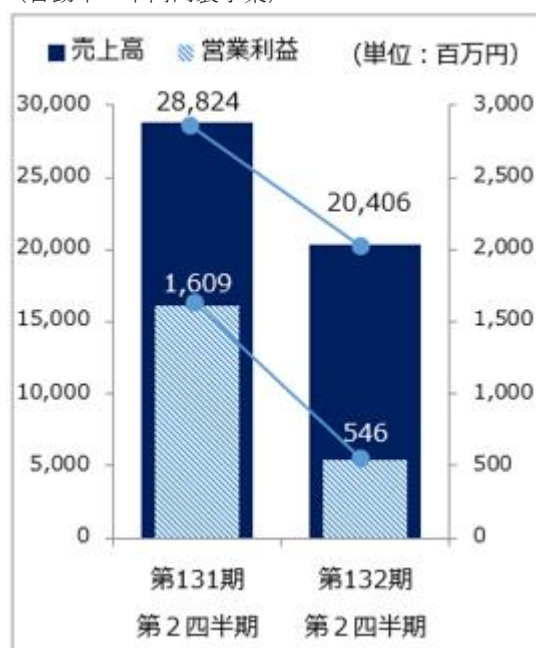
業務用カーペットのうち、ロールカーペットでは、大型案件を受注したことで売上が増加しましたが、タイルカーペットでは、特に海外輸出向けがロックダウンによる経済活動への影響から大きく低迷し、業務用カーペット全体の売上は前年同期比8.0%減となりました。

家庭用カーペットの売上は、外出自粛によりウェブ向け販売が好調に推移したことや、自粛期間明けの消費の盛り返しによりホームセンターなどの店舗販売が好調となったことで、同13.5%増となりました。

カーテンのうち、一般家庭向け「mode S® Vol.9」、 「U Life® Vol.9」は伸び悩みました。また、医療・福祉・教育施設向け「Face」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設への立ち入りが一時的に制限され、新規納入や取り換え工事が下期以降に延期されたことなどにより販売が縮小し、カーテン全体の売上は同8.0%減となりました。

壁装関連は、新型コロナウイルス感染拡大により住宅、店舗、病院およびホテルの新築・リフォーム需要が減少したことで、壁紙の売上が縮小し、売上は同17.0%減となりました。

## (自動車・車両内装事業)



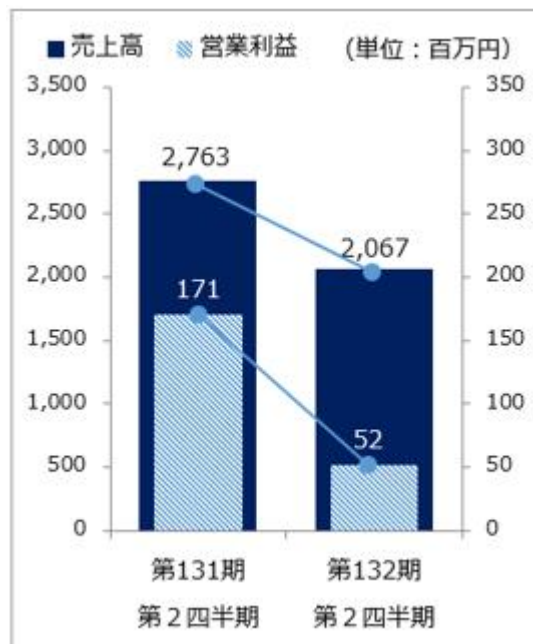
日系自動車メーカーのグローバル生産台数の低迷および鉄道・バスの内装材需要の減少を受け、売上高は前年同期比29.2%減の204億6百万円、営業利益は同66.0%減の5億46百万円となりました。

自動車関連では、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞から日系自動車メーカーの生産台数が減少しました。国内の自動車生産は一時大きく低下し、9月には前年同月並みまで回復を見せたものの挽回には至らず、国内の売上は前年同期比15.9%減となりました。また海外では、地域ごとに差はあるものの生産台数は一様に回復基調にあり、特に中国では順調な回復が続きましたが、世界的なロックダウンに伴う減産や販売低下の影響が大きく、海外の売上は同37.8%減となりました。

車両関連では、テレワークの推進などによる公共交通機関の利用者数減少が影響し、鉄道内装の需要が減少しました。またバスでは、国内旅行やインバウンドの大幅な縮小を受け、新車製造数が大きく低下し、車両関連全体での売上は前年同期を下回りました。



(機能資材事業)



空気清浄機などに内蔵される消臭フィルターや、浴室床材が好調に売上を伸ばしたものの、主力製品であるホットカーペットは、前期の暖冬の影響で当期の新規受注が大きく減少しました。また、ルーフィング材、土木用資材、航空機内装材などの売上が振るわなかったことにより、売上高は前年同期比25.2%減の20億67百万円、営業利益は同69.4%減の52百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産や投資有価証券等が減少したものの、現金及び預金や売上債権等の増加等により、前連結会計年度末に比べ23百万円増加し、862億96百万円となりました。

負債につきましては、仕入債務や短期借入金等が減少したものの、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ5億89百万円増加し、542億80百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ5億66百万円減少し、320億15百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ25億60百万円増加し、128億70百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少24億86百万円等があったものの、減価償却費9億76百万円やたな卸資産の減少17億33百万円等により、90百万円の収入（前年同期は24億8百万円の収入）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出4億70百万円等があったものの、投資有価証券の売却及び償還による収入10億5百万円等により、6億46百万円の収入（前年同期は13億35百万円の支出）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減による支出18億87百万円や長期借入金の返済による支出9億9百万円等があったものの、長期借入れによる収入52億円等により、18億14百万円の収入（前年同期は10億76百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の連結業績予想は、新型コロナウイルスが当社グループ事業に与える影響の見極めが困難であることから発表を延期しておりました。

新型コロナウイルスの感染拡大は国内外問わず収束の見通しを立てることが難しく、当社グループ事業に関連のある業界においても今後も厳しい状況が続くことが予想されます。この難局を力強く乗り切り、企業が成長していくために、これまで当社グループが取り組んできたESGを基軸とした商材の市場展開と、グローバル経営が重要となります。各部門でニーズが高まる抗菌・抗ウイルス加工商材の拡販に取り組むと同時に、海外拠点の連携を強化し、最適生産体制の向上にも取り組んでおります。

現時点での事業動向を勘案し、2021年5月期は、売上高814億円、営業利益8億68百万円、経常利益8億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益85百万円を計画しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想および剰余金の配当（中間配当）並びに期末配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,500	13,101
受取手形及び売掛金	14,502	15,322
電子記録債権	6,469	6,061
商品及び製品	10,422	8,888
仕掛品	1,669	1,424
原材料及び貯蔵品	2,847	2,852
その他	2,299	2,490
貸倒引当金	△23	△26
流動資産合計	48,688	50,114
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,602	17,597
その他(純額)	9,858	9,129
有形固定資産合計	27,460	26,726
無形固定資産		
1,598	1,598	1,614
投資その他の資産		
投資有価証券	5,987	4,743
繰延税金資産	1,395	1,834
その他	1,299	1,425
貸倒引当金	△157	△163
投資その他の資産合計	8,525	7,840
固定資産合計	37,584	36,181
資産合計	86,272	86,296

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,161	11,982
電子記録債務	5,135	4,081
短期借入金	10,858	9,624
1年内償還予定の社債	—	500
未払法人税等	592	419
その他	4,120	4,541
流動負債合計	33,868	31,149
固定負債		
社債	1,500	1,000
長期借入金	7,825	11,785
繰延税金負債	332	306
役員退職慰労引当金	103	142
退職給付に係る負債	4,223	4,204
その他	5,837	5,692
固定負債合計	19,821	23,130
負債合計	53,690	54,280
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,651	2,640
利益剰余金	10,452	10,005
自己株式	△4,017	△3,988
株主資本合計	18,641	18,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,434	1,208
繰延ヘッジ損益	2	△5
土地再評価差額金	7,797	7,797
為替換算調整勘定	331	288
退職給付に係る調整累計額	△208	△189
その他の包括利益累計額合計	9,357	9,099
非支配株主持分	4,583	4,705
純資産合計	32,582	32,015
負債純資産合計	86,272	86,296

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年11月30日)
売上高	48,602	37,567
売上原価	38,594	29,743
売上総利益	10,007	7,823
販売費及び一般管理費	8,816	7,803
営業利益	1,190	20
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	84	71
不動産賃貸料	134	134
その他	77	127
営業外収益合計	305	343
営業外費用		
支払利息	143	118
持分法による投資損失	53	184
為替差損	86	17
不動産賃貸費用	16	16
その他	64	33
営業外費用合計	365	369
経常利益又は経常損失(△)	1,130	△5
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	103	830
特別利益合計	105	833
特別損失		
固定資産除売却損	26	10
減損損失	—	280
投資有価証券評価損	—	558
特別損失合計	26	849
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,210	△21
法人税、住民税及び事業税	527	382
法人税等調整額	△53	△195
法人税等合計	473	187
四半期純利益又は四半期純損失(△)	736	△208
非支配株主に帰属する四半期純利益	262	143
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	474	△352

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	736	△208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	628	△225
繰延ヘッジ損益	10	△9
為替換算調整勘定	△265	△12
退職給付に係る調整額	21	18
持分法適用会社に対する持分相当額	1	1
その他の包括利益合計	396	△227
四半期包括利益	1,133	△436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	908	△611
非支配株主に係る四半期包括利益	224	175

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,210	△21
減価償却費	966	976
減損損失	—	280
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29	△5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	8
受取利息及び受取配当金	△93	△81
支払利息	143	118
持分法による投資損益(△は益)	53	184
固定資産除売却損益(△は益)	23	7
投資有価証券売却損益(△は益)	△103	△830
投資有価証券評価損益(△は益)	—	558
売上債権の増減額(△は増加)	△3,032	△47
たな卸資産の増減額(△は増加)	259	1,733
仕入債務の増減額(△は減少)	2,338	△2,486
未収消費税等の増減額(△は増加)	13	68
未払消費税等の増減額(△は減少)	47	31
その他の流動資産の増減額(△は増加)	323	△513
その他の流動負債の増減額(△は減少)	677	675
その他	△123	△116
小計	2,748	544
利息及び配当金の受取額	93	81
利息の支払額	△145	△109
法人税等の支払額	△387	△460
法人税等の還付額	100	34
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,408	90
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△150	△150
定期預金の払戻による収入	124	161
有価証券の取得による支出	△9	△11
有価証券の売却及び償還による収入	11	15
有形固定資産の取得による支出	△993	△470
有形固定資産の売却による収入	67	12
無形固定資産の取得による支出	△280	△132
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
投資有価証券の売却及び償還による収入	175	1,005
関係会社株式の取得による支出	△272	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	229
貸付けによる支出	△2	△6
貸付金の回収による収入	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,335	646

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,627	△1,887
長期借入れによる収入	—	5,200
長期借入金の返済による支出	△721	△909
リース債務の返済による支出	△448	△385
自己株式の取得による支出	△971	△0
自己株式の売却による収入	—	18
配当金の支払額	△239	△94
非支配株主への配当金の支払額	△323	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,076	1,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	△82	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△85	2,560
現金及び現金同等物の期首残高	7,754	10,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,669	12,870

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が前連結会計年度末以後1年程度続くとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計に関する会計上の見積りを会計処理に反映しております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から、重要な変更はありません。



## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,938	28,824	2,763	48,527	74	48,602	—	48,602
セグメント間の内部 売上高又は振替高	365	3	0	369	84	453	△453	—
計	17,304	28,827	2,764	48,897	158	49,056	△453	48,602
セグメント利益	265	1,609	171	2,046	35	2,081	△890	1,190

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△890百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△893百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性がないため、記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,882	20,406	2,067	37,356	210	37,567	—	37,567
セグメント間の内部 売上高又は振替高	321	0	0	322	84	406	△406	—
計	15,203	20,407	2,068	37,679	294	37,973	△406	37,567
セグメント利益	233	546	52	833	37	870	△850	20

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△850百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△863百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「インテリア事業」「自動車・車両内装事業」「機能資材事業」セグメント、「その他」および報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「インテリア事業」セグメントで129百万円、「自動車・車両内装事業」セグメントで106百万円、「機能資材事業」セグメントで4百万円、「その他」で1百万円および報告セグメントに配分していない全社資産で38百万円であります。